

# 「みんなの測定所 in 秩父」便り 7月—12月 22日 測定結果から

**特にセシウム量が高く、注意を要する物について抜粋しました。**

低線量内部被曝を避けることを考えますと、まず10ベクレル以下の食品を手にとってみてはいかがでしょうか。心配なものについては、計測してみることをお勧めします。

※表記について 「～ベクレル」は、測定器により検体の数量(~g)を1kg換算した結果の数値です。

## ★生シイタケ

横瀬	8月	16.5	ベクレル/kg
市内	9月	41.1	ベクレル/kg
市内	11月	13.2	ベクレル/kg
市内	12月	◆209.5	ベクレル/kg

★乾燥シイタケ 行政は乾燥物については、それぞれに係数を示しています。

乾燥シイタケのセシウム量は、**測定値を係数5.7「重量変化率という」で割る**事によって水に戻した時のセシウム含有量が得られるとしています。このことを秩父郡市内で販売されている乾燥シイタケの測定値を「5.7」で割って得られたベクレル/kgと、同じ検体を測定所で実測した結果を下に掲載しました。

●注意すべき点は、戻しシイタケと戻し汁両方を使用すると、食品基準100ベクレルを簡単に超えてしまうことです。採れた地域・場所などによっては10ベクレル以下の物もありますので、食する前に測ってみることをお勧めします。

皆野 7月 197g 測定値  $523 \div 5.7 = 91.7$  ベクレル 政府換算率によると・・・91.7ベクレル/kg  
197g 測定値 523 を測定所実測・・・戻しシイタケ 994g となり・・・84.7ベクレル

戻し汁 905g となり・・・60.6ベクレル

長瀨 9月 275g 測定値  $144.9 \div 5.7 = 25.4$  ベクレル 政府換算率によると・・・25.4ベクレル

254g を測定所実測・・・戻しシイタケ 807g となり・・・31.9ベクレル

戻し汁 922g となり・・・15.3ベクレル

市内 9月 139g 測定値  $418 \div 5.7 = 73$  ベクレル 政府換算率によると・・・73ベクレル

139g 測定値 418 を測定所実測・・・戻しシイタケ 468g となり・・・63.4ベクレル

・・・戻し汁 787g となり・・・30.5ベクレル

横瀬 9月 203g 測定値  $616 \div 5.7 = 108$  ベクレル 政府換算率によると・・・◆108ベクレル

203g 測定値 616 を測定所実測 戻しシイタケ 696g となり・・・82.4ベクレル

戻し汁 981g となり・・・49.9ベクレル

市内 11月 184g 測定値  $265 \div 5.7 = 46.5$  政府換算率によると・・・46.5ベクレル

184g 測定値 265 を測定所実測 戻しシイタケ 617g となり・・・47.7ベクレル

戻し汁 730g となり・・・26.4ベクレル

市内 12月 121g 測定値  $451 \div 5.7 = 79.1$  政府換算率によると・・・79.1ベクレル

★野生キノコ類 2012年の秋に採取された野生キノコ類の多くからはセシウム量の高いものが検出されており、十分に注意が必要な食材です。食する前の測定をお勧めします

野生キノコ	横瀬	10月	◆110.8	ベクレル/kg
野生キノコ ムラサキハツタケ	市内	10月	◆132.4	ベクレル
野生キノコ 一本シメジ	皆野	10月	43	ベクレル/kg
野生キノコ 桜シメジ	福島	10月	66	ベクレル
野生キノコ ハナイグチ	福島	10月	79.9	ベクレル
野生キノコ	群馬	10月	◆190	ベクレル

野生キノコ		群馬	10月	◆188.8ベクレル
野生キノコ	タマゴダケ	横瀬	10月	◆367ベクレル
野生キノコ	ムラサキ大黒	横瀬	10月	上と同じ地区 ◆162.7ベクレル
野生キノコ	ムラサキ大黒	横瀬	10月	上の物とは地区が違う ◆122.4ベクレル
野生キノコ	大黒	横瀬	10月	◆117.8ベクレル
野生キノコ	タマゴダケ	横瀬	10月	◆312ベクレル
野生キノコ	大黒	市内	10月	◆105ベクレル
野生キノコ	一本シメジ	市内	10月	◆223ベクレル
野生キノコ	さくらシメジ	市内	10月	◆198ベクレル
野生キノコ	もみたけ	小鹿野	10月	◆144ベクレル
野生キノコ	岩たけ	両神	10月	◆103ベクレル
野生キノコ	赤モミタケ	両神	11月	◆219ベクレル
★無患子むくろじの葉		市内	10月	◆362ベクレル/kg
★灰	梅の木灰 1	荒川	8月	◆3,740ベクレル/kg
	梅ノ木灰 2	荒川	8月	◆4,660ベクレル
	焼却灰	荒川	11月	◆4,150ベクレル

★**土壌** かなり高いベクレルの放射性物質が居住空間にあることが分かります、埃となつて舞い上がり鼻・口などから体内に取り込まれることを防がなければなりません。一度、ご自宅の一階の雨樋の中に溜まっている土を測定してみてもいいでしょうか。

※横雨樋の土	近戸	8月	◆119,700ベクレル/kg
横雨樋の土	影森	8月	◆36,100ベクレル
横雨樋の土	影森	8月	◆26,200ベクレル
横雨樋の土	近戸	10月	◆41,700ベクレル
横雨樋の土	皆野・金沢	11月	◆44,900ベクレル
横雨樋の土	市内・中村	11月	◆38,000ベクレル
横雨樋の土	長瀨・井戸	12月	◆29,500ベクレル
横雨樋の土	市内	2013年1月	◆39,700ベクレル
★ポットスポットの土	近戸	8月	一軒のホットスポット三か所合計 ◆7,489ベクレル/kg
	影森	8月	一軒のホットスポット二か所合計 ◆14,910ベクレル

★**野生動物の肉** 山野が汚染されている秩父地域では、そこに住む動物たちも、被害を受けている様子が見え、その肉には十分な注意が必要です。まず測ってみることで

鹿の肉 ※同じ地域で捕獲された鹿の各々の数値は、地域差で見ず個体差に注目することを示唆しています。

2011年	武甲山	7月	10.1ベクレル/kg
2012年	栃谷	10月	クリーンセンター前道路の 反対側の山 ◆22.4ベクレル
2012年	定峰	10月	◆27.5ベクレル
2012年	芦ヶ久保	11月	一頭目不検出 10ベクレル以下・二頭目 10.5ベクレル・三頭目 41.1ベクレル
2012年	名栗	12月	◆16ベクレル
2012年	宝登山	12月	◆12.7ベクレル
2012年	長若	12月	不検出・10ベクレル以下
猪の肉	2012年	市内	8月 ◆22.36ベクレル